

タブレットを用いて，個に応じた指導

単元	合同な図形	対象学年	5年
ねらい	タブレットを用いることで学習意欲を高め，個に応じた指導を効率的・効果的に行うことができる。		

1 準備するもの

教師：大型ディスプレイ，デジタル教科書

児童：iPad（1人1台）

2 学習のしかた

(1) 導入

デジタル教科書を用いて大型ディスプレイに三角形を提示し，合同な三角形をかくために必要な条件（長さや角の大きさ）を考えさせ，まずは3つの辺の長さから合同な図形をかくことを課題として設定する。

(2) 追究

①個人追究

使用する用具は定規とコンパスであることを伝える。合同な三角形をかく手順を考え，その手順を説明できるようノートにまとめさせる。

②全体発表の場

個々で練り上げた作図の手順を全体の場に出し合い，3つの辺の長さから合同な三角形をかく手順を，デジタル教科書の動画を再生しながら確認し，周知する。ここでは，全体の場のペースに合わせて全員発表と同じように作図をする。

③個で習得する場

1人1台 iPad を配付し，アプリ COCOAR2 を使って教科書をスキャンする。かき方手順の動画はデジタル教科書と同じであるが，全体の指導の場で理解できなかった児童は，個の理解度に応じて手順を確認しながら作図することができる。何度も繰り返し再生することができるので，習得できるまで自分のペースで使用することができる。また，音声によって手順を説明もできるので，見ながらまねるのが困難な児童に対しても有効的である。

④ペアで手順を確認する場

ペアを組み，定規やコンパスを使いながら作図の手順を説明する活動を行う。説明が困難な場合は iPad を使いながら説明する。

(3) 振り返り

振り返りをノートに書き、「合同な三角形をかく手順が理解できたか」どうかを確認する。

3 学習上の留意点

- ・ iPad は学習上の手段とする。まずは個人や全体の追究の時間で作図方法を考えられるようにし、個別の支援が必要な児童に対してアプリを用いて指導する。
- ・ 作図方法を習得し、作図方法を説明する活動へとつなげる。技能の習得のみにならないようにする。

4 学習の効果

- ・ iPad を使うことで児童の意欲を高め、授業に取り組むことができた。
- ・ 個別指導では教師主導になりがちだが、動画を何度も見ながら手順を学ぶことで、作図方法を自ら習得しようとする姿が見られた。
- ・ 作図方法を説明する活動においても、作図しながら説明できなくても、動画を用いて説明することができた。

